中泊町 NAKADOMARI-Machi

宮越家「離れ・庭園」、大正浪漫かほるステンドグラス。



大正9年に完成した離れ「詩夢庵」は、9代当主の宮越正治が、イハ夫人33歳の誕生祝いと厄除けを兼ねて建築されました。離れを囲むように庭園「静川園」も整備されています。なかでも、離れにあるステンドグラスは国宝級…！？〔map B-3〕

もっと詳しく！



新・ご当地グルメ
中泊メバル醤〔map B-3〕
2015年にデビューし、大ヒットばく進中！ 中泊町で水揚げされた津軽海峡メバルを丸々 1匹使った刺身と、熱々煮付けのおもてなし醤。
問 / 中泊メバル料理推進協議会
TEL.0173-64-3800



竜泊ライン・眺瞰台
（map A-3）
「竜泊ライン」は国道339号のうち、小泊から半島先端の龍飛岬までの区間のこと。眺瞰台からの景色は絶景で、天気が良ければ北海道が見えます。ここは、紅葉の時期もオススメ！
問 / 中泊町水産商工観光課



金多豆歳人形芝居
（map B-3）
酒飲みで失敗ばかりの金多と、おっちょこちょいで情にもろい豆蔵のかけ合いは時代を超えた面白さ。津軽弁など素朴の津軽に触れられるのもここだけ！
問 / 主宰者 木村巌
TEL.090-8788-5698

問 / 中泊町水産商工観光課 TEL.0173-57-2111
中泊町文化観光交流協会 TEL.0173-57-9030

五所川原市 GOSHOGAWARA-Shi

高さ23m！ 巨大山車「立佞武多」が練り歩く夏。



毎年8月4日から8日まで、ビル7階建てに匹敵する大型立佞武多3台をはじめとした大小十数台の山車が夜のまちを練り歩きます。青森ねぶたや弘前ねぷたとは一味違った、迫力のある高さが特徴のねぶたを是非ご覧下さい。〔map C-3〕

もっと詳しく！



年中好きな角度から眺められる大型立佞武多
（map C-3）
祭り本番に出陣する現役の大型立佞武多3台を常時展示。巨大な「ねぶた」を間近で観覧し、祭り気分を満喫。
問 / 立佞武多の館
TEL.0173-38-3232



近代日本文学を代表する小説家・太宰治の生家
（map C-3）
太宰治記念館「斜陽館」は平成16年に国の重要文化財に指定された貴重な木造建築。館内では、直筆原稿等の貴重な資料が展示。
問 / 太宰治記念館「斜陽館」
TEL.0173-53-2020



列車に揺られて癒やしの時間を
（map C-3）
車窓から眺める津軽平野の四季の移ろいはもちろん、長年愛され続ける津軽鉄道の車両で過ごす時間は格別。
問 / 津軽鉄道株式会社
TEL.0173-34-2148

問 / 五所川原市商工観光課 TEL.0173-35-2111（代表）

板柳町 ITAYANAGI-Machi

見て触れて、体験して。五感で楽しむりんごまるかじりの休日。



日帰り温泉、温泉付きコテージ、りんごを活かしたクラフト体験を楽しめるふるさとセンターから、りんご畑の散歩道を通ってのんびりまち歩き。秋にはりんごもぎ取り体験も。〔map D-3〕

もっと詳しく！



りんごを素材に自分だけの一品
（map D-3）
アップルパイや、りんごの樹や葉を活用したクラフト品（草木染め、陶芸、樹皮工芸）を地元講師と楽しく手作り。
問 / ふるさとセンター工芸館
TEL.0172-72-1500



りんごと岩木山を眺めて映え写真スポット多数
（map D-3）
ふるさとセンターから始まる全長2.1km、りんご畑の中の遊歩道。中央アップルモール、りんごのベンチやモニュメントで個性光る写真を。
問 / 板柳町役場地域整備課



いっぱい遊んだら最後は温泉で
（map D-3）
日帰り温泉には家族風呂や授乳室もあり お子様連れも安心。時間がない方には足湯も。コテージも温泉付き。温泉を贅沢に独り占め。
問 / ふるさとセンター青柳館
TEL.0172-72-1500

問 / 板柳町役場商工観光課 TEL.0172-55-8033

つがる市 TSUGARU-Shi

㊗世界遺産登録！ 遮光器土偶が出土した縄文のふるさと。



遮光器土偶（しゃこちゃん）は、令和3年7月に世界文化遺産に登録された、亀ヶ岡遺跡から出土しました。JR木造駅では巨大しゃこちゃんのモニュメントがお出迎えしてくれます。運が良ければしゃこちゃんの目が七色に光っているかも。〔map C-3〕

もっと詳しく！



青森の再注目スポット
「高山稲荷神社」
（map C-3）
古くから五穀豊穣、海上安全、商売繁盛の守り神として信仰されております。ここでしか見られない千木鳥居を是非ご覧ください。
問 / 高山稲荷神社
TEL.0173-56-2015



新感覚ジェラート
「農家の刺客」〔map C-3〕
つがる市産の長いもを使用したジェラート。柔らかな口当たりと粘りが特徴です。新感覚の味わいを是非ご賞味ください。
問 / 農家の刺客つがるファクトリー（つがる市農産物直売所内）
TEL.090-2709-5018



美肌の湯として人気
（map D-3）
旅の疲れを癒すおすすめの温泉。令和2年5月にオープンした温泉で心安らぐひとときを味わいながら、肌もツルツルの美肌に。
問 / つがる地球村温泉
TEL.0173-26-2855

問 / つがる市役所観光・ブランド戦略課
TEL.0173-42-2111

鶴田町 TSURUTA-Machi

津軽平野の中心で、日本一の三連太鼓橋と津軽富士を仰ぐ。



津軽富士と称される名峰岩木山を湖面に映す、津軽富士見湖に架かる「鶴の舞橋」は青森県産のヒバが用いられ全長は300m。木造三連太鼓橋としては日本一の長さを誇り、四季によって違った表情を見せ、訪れる人を楽しませてくれます。〔map D-3〕

もっと詳しく！



鶴の舞橋観光施設
ここにもあるしゃ〔map D-3〕
鶴の舞橋に隣接しており、鶴田町の名産品を購入できる、軽食やかんやりソイーツが楽しめる、イートインスペースも完備。
問 / 鶴の舞橋観光施設
ここにもあるしゃ
TEL.0173-22-6211



丹頂鶴自然公園
（map D-3）
鶴の舞橋から約120mの距離にあり、飼育されているタンチョウを間近で観察することができる。
問 / 鶴田町役場商工観光課
TEL.0173-22-2111



冬ぶどう「スチューベン」
（map D-3）
ニューヨーク原産の寒冷地品種で、鶴田町は生産量日本一。糖度の高さが特徴。加工品のソフトクリームや大福等も大人気。
問 / 鶴田町役場農業振興課
TEL.0173-22-2111

問 / 鶴田町役場商工観光課 TEL.0173-22-2111

藤崎町 FUJISAKI-Machi

水と緑がつなぐ、育てる・食べる・学ぶ。新しい体験のまち



魚と野菜を一緒に育てる「アクアポニックス」を中心に、農園やカフェ、公園が一体となった体験型施設。野菜やハーブの収穫体験や、採れたての食材を使った料理を楽しみながら、持続可能な農業について楽しく学べます。〔map D-3〕

もっと詳しく！



藤崎の美味しいもの集結
「ふじさき食彩テラス」
（map D-4）
地元で採れた新鮮な農作物や加工品を販売しています。ここでしか買えない特産品を使ったオリジナル商品も多数あり。
問 / ふじさき食彩テラス
TEL.0172-65-3660



ふじさき産業文化交流施設リンゴカ〔map D-3〕
見て・触れて・楽しいをコンセプトにした体験型の展示室があり、町の歴史やりんごのことを学べる。
問 / ふじさき産業文化交流施設リンゴカ
TEL.0172-88-8661



夏は花火、冬は白鳥「白鳥ふれあい広場」
（map D-3）
毎年多くの白鳥が飛来し、白鳥を間近に観察できる、夏には津軽花火大会の会場となる、年間を通じて楽しめる観光スポット。
問 / 藤崎町生涯学習課
TEL.0172-65-3100

問 / ふじさきアクアポニックスタウン
TEL.0172-88-7571

鰺ヶ沢町 AJIGASAWA-Machi

世界遺産「白神山地」の水が育んだ海の幸、めしあがれ。



鰺ヶ沢産のヒラメは、白神山地の栄養豊富で清らかな水が流れ込む日本海が育んだ逸品。ヅケにしたヒラメを贅沢にご飯にのせた「ヒラメのヅケ丼」は町の名物。各店こだわりの味をご堪能あれ。〔map D-2〕

もっと詳しく！



白神山地を体感
「白神の森 遊山道」
（map D-2）
白神山地の原生的なブナ林や野鳥のさえずり、季節の花々など、世界でも貴重な森林景観をガイド付きトレッキングで体感できます。



食通のお墨付き
赤石川の「金アユ」
（map D-2）
白神山地を源流とする、赤石川で獲れたアユは「金アユ」と呼ばれ、その風味・食味は、全国の食通をうならす美味しさ。



夕焼け色に染まる
「はまなす公園」
（map C-2）
夕焼けが魅力的な「はまなす公園」は、夏は海水浴場としても賑わい、不定期で開催されるSUPなどの海上アクティビティも楽しめます。

問 / 鰺ヶ沢町企画観光課観光商工班
TEL.0173-82-0923

弘前市 HIROSAKI-Shi

りんご生産量日本一の街だからできる、極上体験。



弘前市はりんご生産量日本一の街であり、全国の生産量の約2割を占めています。街ではアップルパイやシードルなどに姿を変えたりんごがあなたを待っています。明治から続くりんごの街を体感してみてはいかがですか。〔map D-3〕

もっと詳しく！



個性豊かな品揃え！
（map D-3）
市内にはアップルパイを提供するお店が約40店舗、使うりんごの品種や調理法が異なり、どれも個性的。お気に入りを探してみては？
問 / 弘前市立観光館
TEL.0172-37-5501



過去からの記憶の継承。
（map E-3）
明治・大正期に建てられた酒造工場を改修した美術館。国内外の現代アート作品を展示。併設れんが倉庫美術館
問 / 弘前れんが倉庫美術館
TEL.0172-32-8950



表情を変える街の象徴。
（map D-3）
りんごの栽培技術を参考に管理されている弘前公園の桜は街のシンボル。夏の緑、秋の紅葉、冬の雪景色、季節ごとに表情が変化。
問 / 弘前市公園緑地課
TEL.0172-33-8739

問 / 弘前市立観光館 TEL.0172-37-5501

田舎館村 INAKADATE-Mura

田んぼに描く、創造のキセキ。美しさは時代を超えて



8色12種類の稲を絵具代わりに、田んぼをキャンバスに見立て巨大な絵を描く「田んぼアート」。風に揺れる稲の1株1株まで鑑賞できるのは直接訪れた人だけ。制作の裏話などを聴けるまちあるきガイドも好評。〔map D-4〕

もっと詳しく！



「稲」・「わら」・「土」にこだわった体験型施設〔map D-4〕
史跡・垂柳遺跡の隣にあり、復元した田んぼを利用した稲作体験等ができる。館内にある「いろりばた喫茶」では、古代米を使用したおぼやサイダーなどが味わえる。
問 / 遊稲の館
TEL.0172-58-4689



冬の数日間だけ現れるスノーアートは必見
（map D-4）
「冬の田んぼアート」で制作されるスノーアートは、雪原を踏み固めて描く、雪ならではの作品。
問 / 田舎館村企画観光課
TEL.0172-58-2111



見て、触って、歩いて弥生の空気を感じよう
（map D-4）
弥生時代の水田跡は田んぼアートにも繋がる村の稲作文化の原点。埋蔵文化財センターではその上を直接歩くことも。
問 / 田舎館村埋蔵文化財センター・博物館 TEL.0172-43-8555

問 / 田舎館村企画観光課 TEL.0172-58-2111

西目屋村 NISHIMEYA-Mura

縄文から続くブナ林を歩いて、気軽に楽しむ「白神山地」。



約8,000年前の縄文時代からほぼ変わらずに原生的なブナ林が広がる白神山地。その山々からの恵みをいただくマタギ文化は、今では白神ジビエとして受け継がれています。古くから続く大自然の中を、ぜひ歩いてみてはいかが。〔map E-2〕

もっと詳しく！



白神山地観光の拠点に
（map E-3）
白神山地の入口に立つ道の駅で、村の特産品や観光情報など、全てがそろっています。レストランやカフェ、ワイナリーもあり お腹が満たされること間違いなしです。
問 / 道の駅津軽白神ビーチにしめや
TEL.0172-85-2855



大自然の中へ飛びこもう
（map E-2）
津軽白神湖へのスプラッシュは天然のアトラクションそのもの。天候や湖の水位により運休になる場合もありますので事前に運行情報をご確認ください。
問 / 道の駅津軽白神ビーチにしめや
TEL.0172-85-3315



白神のジビエをめしあがれ
（map E-3）
鳥獣害対策により捕獲されたクマを活用してつくられた料理。村産そば粉を使った温そばやお召し上がりください。
問 / 道の駅津軽白神ビーチにしめや
TEL.0172-85-2855

問 / 西目屋村産業課 TEL.0172-85-2800

平川市 HIRAKAWA-Shi

まちの歴史を物語る国名勝庭園は、緑に囲まれた別世界。

津軽地方に残る大石武学流庭園のひとつ「盛美園」。国内には1階が純和風、2階が洋風の和洋折衷が珍しい「盛美館」があります。ジブリ映画の舞台のモデルになったとされており、まちの喧騒から離れた別世界が広がります。〔map D-4〕

もっと詳しく！

世界一の肩ねぶた
（map E-4）
高さ12m、幅9.2mの山車は間近で見ると圧巻。墨の濃淡や明暗で表現する水墨画調の描画が一層の迫力を生み出します。
問 / 平川市商工観光課
TEL.0172-55-5732

猿賀公園
（map D-4）
春には桜が、夏には藤が園内を彩ります。都生する蓮は和蓮という種類で、淡いピンク色の花が鏡ヶ池一面に咲き誇ります。
問 / 平川市観光協会
TEL.0172-40-2231

いで湯の里
（map E-4）
秋田県境に湧く秘湯「古遠部温泉」。りんご風呂で有名な「青森のお宿 ホテルアップルランド」など、様々な泉質を堪能できます。
問 / 平川市観光協会
TEL.0172-40-2231

問 / 平川市観光協会 TEL.0172-40-2231

黒石市 KUROISHI-Shi

風情あるこみせ通りで、タイムスリップしたような非日常体験。

雪や夏の日差しから人々を守る「こみせ」は「重要伝統的建造物群保存地区」「日本の道百選」に選定され、江戸時代の風情と町並みを今も残しています。歴史の詰まったこみせ通りを歩くと、普段とは違った雰囲気を楽しむことが出来ます。〔map D-4〕

もっと詳しく！

世界にひとつだけのねぶた灯ろう制作体験
（map D-4）
実際に使用された本物のねぶた絵で、オリジナルの灯ろうを作ることができる体験工房。お土産やインテリアに！
問 / 手作り雑貨・体験工房 IRODORI
TEL.0172-55-6188

「やきそばのまち」が生んだB級グルメ〔map D-4〕
つゆやきそばは名前のとおりモチモチの太平麺と香ばしいソースが特徴の黒石やきそばにそばつゆをかけたもの。あやしくておいしいと評判です。
問 / 黒石つゆやきそば伝統会
TEL.0172-52-4316

ただ歩くだけじゃないまちあるきツアー〔map D-4〕
昔段はふれない隠された場所や自分で歩くだけでは気づかないポイントを聞きながらのまちあるきは、新しい発見や出会いがあるかも？
問 / 松の湯交流館
TEL.0172-55-6782

問 / 黒石観光協会 TEL.0172-52-3488

深浦町 FUKAURA-Machi

白神山地に輝くコバルトブルーと、「北前船」歴史探訪。

深浦町は世界自然遺産「白神山地」や、日本遺産「北前船」が寄港した風待ち湊を有しており、自然と歴史に関する遺産を双方体験できる。特に白神山地の麓「十二湖」の青池は夏季になると鮮やかな青色を魅せ、来場者を魅了する。〔map E-1〕

もっと詳しく！

春光山 円覚寺
（map D-1）
西暦807年建立の祈祷寺で、日本遺産「北前船」の風待ち湊にも面し、船主からの信仰も深く「船絵馬」や「鰤額（まげがく）」など文化財も多数奉納されている。
問 / 春光山 円覚寺
TEL.0173-74-2029

海の駅ふかうら「深浦まるごと市場」
（map D-1）
深浦町の中心部にある海の駅で、魚介類や地元特産品を購入できる、食堂では新鮮な魚を使用した「おまかせ海鮮丼」を提供。
問 / 深浦まるごと市場
TEL.0173-82-0315

北金ヶ沢の大イチョウ
（map D-2）
国の天然記念物に認定されている高さ約31m、幹周り約22mの日本一の大イチョウ。晩秋にはライトアップイベント「ビッグイエロー」も開催。
問 / 深浦町観光課
TEL.0173-74-4412

問 / 深浦町観光協会 TEL.0173-82-0875

大鰐町 OWANI-Machi

遊ぶ、食べる、癒される。温泉の町はアクティビティも充実。

「熱の湯」との異名から、湯上がりは“ぽかぽか”。駅前の足湯をはじめ町内には開湯800年以上の温泉を楽しめる温泉施設が複数あり、風呂道具を持つ人が街中を行き交う光景はスタンダード。津軽藩主たちが愛した歴史ある湯で、ゆったりとした一時を。〔map E-4〕

もっと詳しく！

湯けむり薫るまちあるき
（map E-4）
開湯800年以上の歴史を持つ大鰐温泉の情緒漂う街並みをゆったり散歩しながら、「津軽の美座敷」を感じてみては？
問 / OH!鰐 元気隊（鰐come内）
TEL.0172-49-1126

約400年続く幻の伝統野菜
（map E-4）
温泉熱・温泉水のみを用いて栽培されている「大鰐温泉もやし」。長さは30cm～40cm。土耕栽培独特の芳香や味は唯一無二です。
問 / 大鰐町地域交流センター「鰐come」
TEL.0172-49-1126

目の前は阿闍羅山の丘陵
（map E-4）
ケビン・バンガロー完備、テントサイト有りのキャンプ場。周辺にはアウトドア施設も充実。町中の温泉へも車で数分と好条件。
問 / あじやらの森キャンプ場管理棟 TEL.0172-47-6664

問 / 大鰐町企画観光課 TEL.0172-55-6561

ツガルツナガル応援隊のりんご娘です！

ツガルツナガル体験

伝統工芸品製作やアクティビティ、食、酒、歴史、自然、まちあるきなど、津軽ならではの体験を多数ご用意！ WEBから24時間予約OKで旅行前も旅行中も便利です♫

詳細はこちらから！

ツガルツナガル湯らり津軽周遊パス

「ツガルツナガル湯らり津軽周遊パス」は、2～3日間の期間中、津軽地域内30施設以上の温泉・観光施設に定額で入場し放題になる共通チケットです。とても便利でお得なので津軽周遊観光の際にぜひご利用ください！

ツガルツナガル コンセプトルーム

地元宿泊事業者と協力して造成した客室。津軽独自のコンテンツをコンセプトにしており、その世界観に没入していただけます。

弘南鉄道コンセプトルーム
@GOOD OLD HOTEL

立佞武多コンセプトルーム
@パークイン五所川原エルムシティ

Time Trip TSUGARU

右記二次元バーコードから、（一社）Clan PEONY 津軽 の運営サイト「Time Trip TSUGARU」や各種SNSがご覧いただけます。いずれも津軽地域14市町村の体験、食、宿泊、温泉などの観光情報満載で、津軽旅行がより楽しくなる情報を発信中です！

※2026年10月現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、詳細は各市町村へお問合せください。

TSUGARU TSUTSU-URAURA GUIDE MAP

青森県津軽地域は、手つかずの自然や素朴な風景
その土地ならではの食と文化が、ツツウラウラに息づいています。
おどろきと感動を探しに、ぜひお出かけください！

モデルルート

ツガル ツツウラウラ ツーリズム

津軽広域 探遊マップ

TSUGARU 4 SEASONS EVENT CALENDAR

- ●1月1日　常盤八幡宮年縄奉納行事（藤崎町）
- ●1月下旬　冬の田んぼアート（田舎館村）
- ●1月下旬～2月上旬　猿賀神社七日堂大祭（平川市）
- ●2月上旬　旧正マッコ市（黒石市）
- ●2月上旬～中旬　弘前城雪燈籠まつり（弘前市）
- ●2月上旬～中旬　乳穂ヶ滝ライトアップ、乳穂ヶ滝氷祭（西目屋村）
- ●2月下旬　沢田ろうそくまつり（弘前市）

- ●4月中旬　竜泊ラインウォーキング（中泊町）
- ●4月中旬～4月下旬　黒石さくらまつり（黒石市）
- ●4月中旬～4月下旬　金木桜まつり（五所川原市）
- ●4月中旬～5月上旬　平川さくらまつり（平川市）
- ●4月下旬　つがる市春まつり（つがる市）
- ●4月下旬～5月上旬　鶴の舞橋春まつり（鶴田町）
- ●5月上旬　弘前りんご花まつり（弘前市）
- ●5月中旬　大鰐温泉つつじまつり（大鰐町）
- ●5月下旬～6月上旬　田植え体験ツアー（田舎館村）
- ●6月中旬　古都ひろさき花火の集い（弘前市）
- ●6月中旬　奥津軽虫と火まつり（五所川原市）
- ●6月下旬　ふじワングランプリ（藤崎町）

- ●7月中旬　クラシックカークラブ青森ミーティングinこみせ（黒石市）
- ●7月中旬　にしめやランド（西目屋村）
- ●7月中旬　中泊ビーチサッカーフェスタ（中泊町）
- ●7月中旬～8月下旬　大鰐温泉サマーフェスティバル（大鰐町）
- ●7月26日～28日　つがる市ネブタまつり（つがる市）
- ●7月30日、8月2日　黒石ねぷた祭り（黒石市）
- ●8月1日～8月7日　弘前ねぷたまつり（弘前市）
- ●8月2日、3日　平川ねぷたまつり（平川市）
- ●8月4日～8日　五所川原立佞武多（五所川原市）
- ●8月上旬　五所川原花火大会（五所川原市）
- ●8月上旬　つがる市メロン・スイカフェスティバル（つがる市）
- ●8月中旬　つるたまつり（鶴田町）
- ●8月中旬　なかどまりまつり（中泊町）
- ●8月14日　平川あどの祭り（平川市）
- ●8月中旬　黒石よされ（黒石市）
- ●8月中旬　大川原の火流し（黒石市）
- ●8月中旬　深浦町海上花火大会（深浦町）
- ●8月中旬　白八幡宮大祭（鯵ヶ沢町/4年に一度）
- ●8月中旬　津軽花火大会（藤崎町）
- ●8月中旬　りんご灯まつりないたやなぎ花火大会（板柳町）
- ●8月下旬　つがる市馬市まつり（つがる市）
- ●8月下旬　ひらかわフェスタ（平川市）
- ●8月下旬～9月上旬　お山参詣（弘前市）

- ●9月中旬　黒石こみせまつり（黒石市）
- ●9月中旬　猿賀神社十五夜大祭（平川市）
- ●10月上旬　稲刈り体験ツアー（田舎館村）
- ●10月上旬　りんごの里板柳まるかじりウォーク（板柳町）
- ●10月中旬～11月上旬　猿賀公園紅葉まつり（平川市）
- ●10月下旬～11月上旬　弘前城菊と紅葉まつり（弘前市）
- ●10月下旬～11月上旬　鶴の舞橋ライトアップイベント&秋まつり（鶴田町）
- ●11月中旬　つがる市食と産業まつり（つがる市）
- ●11月中旬　黒石りんごまつり（黒石市）
- ●11月中旬　ふじさき秋まつり（藤崎町）
- ●11月下旬　まるごと大鰐秋の感謝祭（大鰐町）

▲詳細・最新情報は「ツガルツナガルカレンダー」でチェック！

- ●ひらかわイルミネーションプロムナード（平川市）　11月中旬～2月中旬
- ●冬に咲くさくらライトアップ（弘前市）　12月～2月下旬
- ●弘前さくらまつり（弘前市）　4月中旬～5月上旬
- ●平川市蓮の花まつり（平川市）　7月中旬～8月下旬
- ●中野もみじ山ライトアップ（黒石市）　10月中旬～11月上旬
- ●津軽鉄道ストーブ列車（五所川原市）　12月1日～3月31日
- ●田んぼアート（田舎館村）　6月上旬～10月中旬
- ●日本一の大イチョウライトアップ「ビッグイエロー」（深浦町）　11月中旬～11月下旬

津軽地域へのアクセス

※2026年10月現在の情報です。

航空

羽田空港	JAL 約1時間20分	青森空港 → 弘南バスターミナル（弘南バス（青森空港線）所要時間55分）
新千歳空港	JAL・ANA 約45分	
名古屋（小牧）空港	FDA 約1時間20分	
大阪国際（伊丹）空港	JAL・ANA 約1時間30分	
神戸空港	FDA 約1時間40分	

※期間限定運航のため運航状況は要確認

新幹線

新函館北斗	北海道新幹線 約1時間	青森・新青森 → JR奥羽本線 約40分 → 弘前
東京	東北新幹線 約3時間	
新大阪	東海道新幹線 ● 東北新幹線 約6時間（東京）	

新函館北斗：北海道新幹線約50分 → 奥津軽いまべつ；予約型タクシー約40分 → 津軽中里；津軽鉄道約40分 → 津軽五所川原

※特急つがる・秋田 ～ 弘前（所要時間約2時間）

高速バス

東京	ノクターン・ネオ号 約9時間30分	弘前
上野	パンダ号 約9時間	
仙台	ブルーシティ号 約4時間50分	青森
盛岡	あすなろ号 約2時間45分	
横浜	約9時間50分（弘前）約10時間50分（五所川原）ニュークノクターン号	五所川原・弘前
仙台	キャッスル号 約4時間20分～30分	弘前
盛岡	ヨーデル号 約2時間15分	

フェリー

函館	約3時間40分	青森



冬期閉鎖の詳しい道路情報については
こちらのサイトでご確認ください。

発行：一般社団法人 Clan PEONY津軽
〒036-8356 青森県弘前市下白銀町2-1 弘前市立観光館2F
TEL.0172-88-6090　アンケートへのご協力をお願いいたします▶

※2026年10月現在の情報です。
※写真・イラストはすべてイメージです。
実際とは異なる場合があります。